

# 平成30年度家庭教育応援プロジェクト 三春方部幼小中PTA連絡協議会交流会

○期 日 平成30年6月24日(日)  
○場 所 三春町立沢石小学校体育館

## 情報モラル・メディア講演会

講 師 株式会社情報文化総合研究所代表取締役  
佐藤 佳弘 氏

演 題 「子どもが危ない！ スマホ社会」  
～知らなかったでは済まされない～

参加者 保護者48名 教職員24名  
児童・生徒15名 その他2名  
ブロック会議推進委員1名  
事務局3名



## 【プログラムの実際】

県中域内では、子どもたちが健やかに成長していくために「コミュニケーション」をキーワードとし、「メディアコントロール」と「子どもの健康・体力向上」を家庭教育推進上の課題と捉えています。今回は、「メディアコントロール」に焦点をあてて、株式会社情報文化総合研究所代表取締役 佐藤 佳弘 氏を講師にお招きして講演会を開催しました。インターネット社会の問題点や対処法を知り、親としてできることについて考える機会としました。また、家庭においてスマホやインターネットの危険性について話をすることで、親子のコミュニケーションの重要性についても再認識するきっかけづくりにしたいと考えました。佐藤氏から具体的な事例を紹介いただきながら、わかりやすくご講演をいただきました。

## 【講演内容】

- はじめに
  - ・ 便利な裏側には同じ大きさの危険がある
- スマホ社会の現状
  - ・ 子どものスマホ所持率（平成29年 全国）  
小学生29.9% 中学生58.1% 高校生95.9%
  - ・ 保護者の心配事  
名前や住所の書き込み 暴力的な内容、性的な内容、反社会的な内容のサイトへのアクセス ネットからの情報を鵜呑みにする 長時間のネット利用 詐欺や売春などの犯罪 コンピュータウイルスへの感染 ネットでの言い争いや誹謗中傷 ネットを介して知り合った人と外で会う 友だち関係の悪化
  - ・ 子どものトラブル状況（「平成27年度 青少年のインターネット利用環境実態調査結果」より）  
小学生16.3% 中学生31.9% 高校生53.0%



【町P連会長による講師紹介】

○ 脱！ スマホトラブル

- 自分の住所、電話、メアドの掲載
- 架空請求メール  
(無視して良い架空請求 無視できない架空請求)
- なりすましメール  
スマホから簡単に送ることができる(アプリをインストールすると簡単)
- アドレス帳の吸い上げ  
「友だち自動追加」をオンにしてはいけない
- クーリングオフ  
ネット通販で買ったものはクーリングオフの対象外
- 電磁波の発がん性(WHOの分析)  
子どもほど脳への影響が大きい フランスやイギリスでは子どもの使用を規制
- 気休めのパスワード  
パスワードを破るのはかんたん



【佐藤氏による講演の様子】

○ 子どもを危険から守るために(家庭でできること)

- 話しておく、決めておく  
18歳未満は児童であるため契約行為ができない  
スマホの契約者は保護者
- フィルタリングを使う  
保護者(契約者)に義務づけられている
- ペアレンタルコントロール
- LINEの設定
- 異変のキャッチ(ネットトラブル)  
食欲がなくなる 寝坊するようになる  
学校にいきたがらない 笑顔がなくなる ため息をつく



【熱心に講演を聞く参加者】

【講演会の感想】

- 携帯電話、スマホには、メッセージの危険、詐欺被害、人体への影響などがあることが分かり大変勉強になりました(幼稚園保護者)。
- 保護者が無知ではいけないと感じました。子どもだけでなく大人も危機感をもつべきではないかと思いました。(小学校保護者)
- 中学生の子に携帯がほしいと言われているが、いろいろな危険があるから持たせないと説明しています。なぜなのか分かってもらうために、今日の講演は中学生にも聞かせたかったと思いました(中学校保護者)
- 子どものほうが操作に関しては分かっているので安心(?)していました。「大丈夫だろう！」ではなく、親もしっかり関わっていかねばと思いました(中学校保護者)
- スマホについて分からない部分が多かったので、今日の講演を聞いてあらためて家族で話し合っていかなければという気持ちになりました(教職員)。
- 今の時代、子どもを静かにさせるために親がスマホを与えている場面をよく見かけます。親の意識をしっかりさせないとトラブルは防げないと強く感じました。子どもたちとしっかり話し合っていきたいと思います(教職員)。



【町P連副会長によるお礼の言葉】